

みんなの
随想



末松 孝治

福島市・学法福島高家庭科教諭

家庭科は人生の必須科目

の移動は「質の差が出にくく、対価は…。教科書には答
い家事」といえる。つまり私
がやっても妻がやっても同
じ質でできる家事である。
一方、積極的に行わない
家事は「料理」「台所の整
理」「洗濯物を干す・たた
む・収納する」「子どもの
髪を結う」などだ。

これらは「質や技術の差
が出やすい家事」といえる。
私が洗濯物を取り込み、良
かれと思っただけで収納
までしても、妻が後でそれ
を修正することになれば、
手間を増やすだけだ。そう
考えると手を出しづらい。
ただし、自分のことを自
分で言うのはOKだ。私は
洗濯物を取り込んだ後に自
分の下着や服だけたたんで
収納する。一見、「そこま
でやるなら全部やれば？」
と思われるかもしれない
が、妻は「それでも十分助
かる」と言ってくれる。

家庭科の教科書には「労
働は二つに大別される」と
書いてある。一つ目の職業
労働は「収入を目的とした
労働」で、その対価は賃金
つまりお金である。二つ目
の家事労働は「収入を目的
としない労働」である。そ

私の家庭は共働き世帯で
ある。これまで妻と喧嘩を
した記憶がない。
夫婦喧嘩の理由としてよ
く挙げられるのが「夫が家
事に参加しない」である。私
も家事を行うが、積極的に
行う家事と「積極的に行わ
ない家事」を区別している。
積極的に行う家事とは、
「ゴミ出し」や「洗濯物の取
り入れ」「食後の食器を流し
に持っていくこと」「風呂や
トイレの掃除」などである。
中でも「ゴミ捨て」「洗濯物
の取り入れ」「食後の食器を
流しに持っていくこと」に
は共通点がある。それは「移
動」だ。A地点からB地点へ

調べてわかったこと、考えたこと（330字程度）

記事から知り得たこと

疑問に思ったこと、調べてみたいこと

皆さんは収入を目的としない家事労働の
対価は何だと考えますか？

